

## ㈲武田設備工業 環境行動計画

平成20年10月14日

### 取組方針

有限会社武田設備工業は、『日頃の小さな工夫の積み重ねが、大きな技術の改善につながる』ことをモットーに、顧客ニーズにあった管工事や土木工事などを行っています。

また、当社の事業活動を進めていく中で、環境保全が重要課題の一つであることを認識し、地球環境との調和、地域社会との融和を図りながら進歩・発展していくことを目指していきます。このため、私たちは、事業活動に伴う環境への負荷を少なくするために、以下の取組を社員一丸となって推進します。

- ① 事業活動中での省エネルギーと省資源（紙使用量の節減・節水）
- ② 製造部門、事務部門における廃棄物の削減
- ③ 5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）の徹底

この方針に基づいて社員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全社員に周知します。

平成20年10月14日

有限会社 武田設備工業

代表取締役 武田 新治

文書番号・文書名	制定日	H20年10月14日	担当		社長
<b>3-1 環境負荷の低減目標</b>	改訂日	年 月 日			

低減目標についての基準年度は、いずれも平成19年度（平成19年3月1日～平成20年2月29日）

平成20年度（平成20年3月1日～平成21年2月28日）は3%削減を目標とし、

平成21年度（平成21年3月1日～平成22年2月28日）は5%とする。

**目標1 二酸化炭素の総排出量削減/売上高当たりkg-CO<sub>2</sub>/百万円**

<b>基準年</b> 平成19年度 (H19年3月～H20年2月) <b>排出量</b> 449 kg・CO <sub>2</sub> /百万円	<b>目標年1</b> 平成20年度 (H20年3月～H21年2月) <b>排出量 (目標値)</b> 435.53 kg・CO <sub>2</sub> /百万円	<b>目標年2</b> 平成21年度 (H21年3月～H22年2月) <b>排出量 (目標値)</b> 413.75 kg・CO <sub>2</sub> /百万円
---	---	---

**目標2 産業廃棄物の排出量削減/売上高当たりkg-CO<sub>2</sub>/百万円**

<b>基準年</b> 平成19年度 (H19年3月～H20年2月) <b>排出量</b> 0.036 t/百万円	<b>目標年1</b> 平成20年度 (H20年3月～H21年2月) <b>排出量 (目標値)</b> 0.035 t/百万円	<b>目標年2</b> 平成21年度 (H21年3月～H22年2月) <b>排出量 (目標値)</b> 0.033 t/百万円
---	--	--

**目標3 コピー用紙の使用量削減/売上高当たりkg-CO<sub>2</sub>/百万円**

<b>基準年</b> 平成19年度 (H19年3月～H20年2月) <b>使用量</b> 2.01 kg/百万円	<b>目標年1</b> 平成20年度 (H20年3月～H21年2月) <b>使用量 (目標値)</b> 1.95 kg/百万円	<b>目標年2</b> 平成21年度 (H21年3月～H22年2月) <b>使用量 (目標値)</b> 1.85 kg/百万円
---	--	--

**目標4 水使用量削減/売上高当たりkg-CO<sub>2</sub>/百万円**

<b>基準年</b> 平成19年度 (H19年3月～H20年2月) <b>使用量</b> 3.3 m <sup>3</sup> /百万円	<b>目標年1</b> 平成20年度 (H20年3月～H21年2月) <b>使用量 (目標値)</b> 3.20 m <sup>3</sup> /百万円	<b>目標年2</b> 平成21年度 (H21年3月～H22年2月) <b>使用量 (目標値)</b> 3.04 m <sup>3</sup> /百万円
---	---	---

文書番号・文書名		制定日	H20年10月14日	担当	社長
<b>3-2 環境負荷の低減目標 対する実績比較表</b>		改訂日	年 月 日		

目標1 二酸化炭素の総排出量削減/売上高当たりkg-CO<sub>2</sub>/百万円

年度 項目	基準年 平成19年度 (H19年3月~H20年2月)	目標年1 平成20年度 (H20年3月~H21年2月)	目標年2 平成21年度 (H21年3月~H22年2月)
目標値		435.53 kg・CO <sub>2</sub> /百万円	413.75 kg・CO <sub>2</sub> /百万円
実績	449 kg・CO <sub>2</sub> /百万円		
差異			
低減率			

目標2 産業廃棄物の排出量削減/売上高当たりkg-CO<sub>2</sub>/百万円

年度 項目	基準年 平成19年度 (H19年3月~H20年2月)	目標年1 平成20年度 (H20年3月~H21年2月)	目標年2 平成21年度 (H21年3月~H22年2月)
目標値		0.035 t/百万円	0.033 t/百万円
実績	0.036 t/百万円		
差異			
低減率			

目標3 コピー用紙の使用量削減/売上高当たりkg-CO<sub>2</sub>/百万円

年度 項目	基準年 平成19年度 (H19年3月~H20年2月)	目標年1 平成20年度 (H20年3月~H21年2月)	目標年2 平成21年度 (H21年3月~H22年2月)
目標値		1.95 kg・百万円	1.85 kg・百万円
実績	2.01 kg/百万円		
差異			
低減率			

目標4 水使用量削減/売上高当たりkg-CO<sub>2</sub>/百万円

年度 項目	基準年 平成19年度 (H19年3月~H20年2月)	目標年1 平成20年度 (H20年3月~H21年2月)	目標年2 平成21年度 (H21年3月~H22年2月)
目標値		3.20 m <sup>3</sup> /百万円	3.04 m <sup>3</sup> /百万円
実績	3.3 m <sup>3</sup> /百万円		
差異			
低減率			

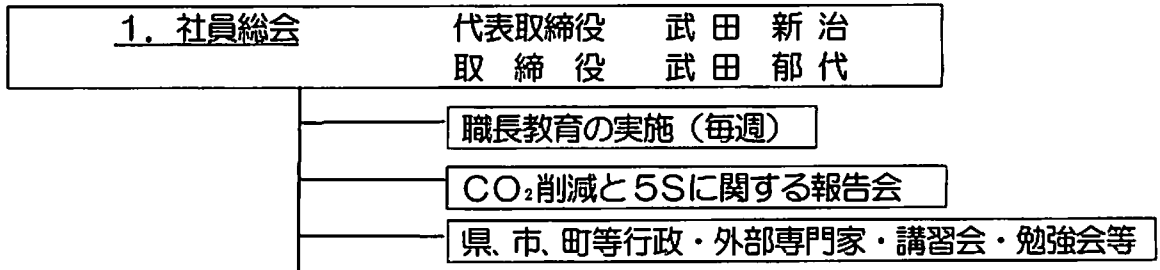
(注) 差異の値と低減率は自動計算

文書番号・文書名	制定日	H20年10月14日	担当		社長
<b>4・2 環境保全に向けた役割分担図</b>	改訂日	年 月 日			

別紙 2 (環境負荷の低減や5S等目標達成のための組織)

当社の組織と役割分担

(有)武田設備工業



2. 研究会

(1) 技術管理部門

代表取締役	武田 新治	◎ 全般のトップ経営責任者 給水装置工事主任技術者
取締役	武田 郁代	◎ 環境保全活動の責任者 1級土木施工管理技士 1級管工事施工管理技士 給水装置工事主任技術者 監理技術者資格者 浄化槽設備士
従業員	武田 達雄	◎ 営業担当責任者 土木・管工事技術者
従業員	金谷 誠示	1級土木施工管理技士 1級管工事施工管理技士 監理技士資格者 給水装置工事主任技術者 浄化槽設備士
従業員	乙丸 智浩	土木・管工事技術者
従業員	宮本 善輝	給水装置工事主任技術者 浄化槽管理士
従業員	武田 達也	給水装置工事主任技術者
従業員	武田 文人	土木・管工事部門

(2) 事務管理部門 (環境負荷の測定と記録)

取締役	武田 郁代(上掲)	1級建設業経理事務士 環境に関する情報収集と分析 当社環境記録データの記録と整理 別紙2報告会の記録と発表
-----	-----------	--